

1. 基本的な事項

○空港の特徴

- ・丘珠空港は北海道札幌市に立地する共用空港であり、空港周辺は、空港南西側(ターミナル側)は市街地と隣接し、空港北東側は農地が広がっている。
- ・滑走路1本と旅客ターミナルビル1棟等を有し、乗降客数27万人、着陸回数8,377回(2019年度)を取り扱っている。

○空港脱炭素化に向けた方針

- ・旅客ターミナルビル、庁舎等において、高効率空調への更新、照明、灯火のLED化等の省エネのほか、再生可能エネルギーの導入などに取り組む

2. 温室効果ガスの排出量

区分	温室効果ガス排出量[t/年]		
	2013年	現状(2019年)	
空港施設	1.4千	1.3千	
空港車両	0.1千	0.1千	
空港施設・車両 計	1.5千	1.4千	
(参考)	航空機	1.3千	1.4千
	空港アクセス	0.2千	0.4千

3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	2013年度比 46.0%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル

4. 主な取組

- ・2030年度：
 - ・空港建築施設等の新築等におけるZEB推進検討
 - ・ターミナルビル、照明LED化、空調設備等の高効率化による省エネに取り組む。
- ・2050年度：
 - ・格納庫屋根への太陽光発電設備の導入を検討。



取組の内容及び実施箇所

その他の取組

- ・地域連携・レジリエンス : 余剰電力を活用した周辺地域の公共施設への再エネ電力の供給や、災害時の電力供給を検討
- ・意識醸成・啓発活動等 : 計画の達成状況を数値化して協議会で共有し、空港関係者及び利用者への理解促進の取組みにつなげる